

# 図書館だより

	日	月	火	水	木	金	土
12月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	*	*	*	*
	日	月	火	水	木	金	土
1月	*	*	*	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	*

諫早市立図書館公式ホームページ

CHECK IT!



大掃除で図書館から借りた資料を発見したら…  
 すぐに諫早市内の図書館・図書室へご返却を！  
 何ヶ月も延滞すると、返却するまで資料の貸出や予約ができなくなります。  
 その資料を必要とする他の利用者の方に、ご迷惑をおかけすることになります。  
 返却忘れの資料がないか、あらためてご確認をお願いいたします。

開館時間 10:00~18:00 ■は休館日

## ～来ぶらりい～

早いもので今年も師走を迎え、二十四節気で言うところの大雪や冬至など、その言葉からも冬本番という季節になりました。帰宅後の手洗いやうがいをしっかり行い、健康管理に留意したいものです。

さて、冬は花の少ない季節ですが、冬にしか咲かない花で思いつく花はどんなものがありますか。私は山茶花です。通勤途中の国道端や、森山図書館の周辺でも紅や白の色鮮やかな花を楽しむことができます。この花を見ると、ああ今年も冬になったなあと思います。

ところで、この「山の茶の花」と書く「サザンカ」ですが、名前から想像すると中国あたりから入ってきた花木のようですが、実は昔から日本に自生しているものなんだそうです。そして、日本の文献に初めて登場するのが室町時代で、それまではあまり知られていなかったそうなのです。江戸時代になると盛んに栽培され、詩歌によく登場するようになったとのこと。

今回は、図書館の本から得た情報を書いてみました。何も知らずに見ていた花も、今年はちょっと違って見えそうで、今から花の咲くのが楽しみです。  
(副館長 佐田)

# 年末年始休館のお知らせ

12月28日(土)～1月4日(土)

上記の期間は休館日となります。諫早市内の図書館・図書室も同様です。  
返却は正面玄関脇の返却ポストをご利用ください。  
視聴覚資料のご返却はカウンターまでお願いします。  
また、年末年始の休館日に伴い、資料の貸出期間が延長されます。

- ※図書資料：12月14日(土)～27日(金)貸出分  
通常2週間 ⇒ 3週間
- ※視聴覚資料：12月21日(土)～27日(金)貸出分  
通常1週間 ⇒ 2週間

## かるた・すごろく大会のお知らせ

新年のお楽しみ行事として、今年もかるた・すごろく大会を開催いたします。みなさまのご参加を、お待ちしております！  
(申込は不要です。)

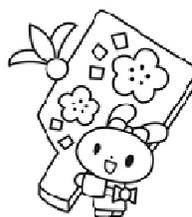
- 開催日/1月11日(土)
- 時間/午後2時～
- 場所/森山図書館 和室
- 対象/小学生

詳しくは、館内チラシをご覧ください。

### ◆◇12月の行事予定◆◇

開催日	行事名	対象	時間	場所
7日(土)	おはなし会	幼児～小学生	11:00～	和室
20日(金)	おはなし会 0.1.2	0歳～2歳	11:00～	おはなしの部屋

※1月のおはなし会(幼児～小学生向け)は、11日(土)の11:00～あります。



今年もたくさんのご来館、ありがとうございました。  
2020年も森山図書館をよろしくお願ひいたします。  
よいお年をお迎えください。 森山図書館 職員一同



# 新しく入ったおすすめの本



## ■ 一般書

### 文学

#### 『賞金稼ぎスリーサム!』

川瀬 七緒 著／小学館  
元刑事の薙下のもとへ、ある放火殺人の調査依頼が舞い込んだ。事件には多額の報奨金がかけてあるという。薙下は世代も性格も考え方も異なる2人と組んで、調査に乗り出すが…。『きらら』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

### 料理

#### 『おうちすし』

野本 やすゆき 著／世界文化社  
海鮮ちらしすし、ラップにぎり、サラダすし、手巻きすし…。東京・谷中の人気すし店の三代目が、ホームパや手土産、わが家で楽しむ55レシピと、おすし屋さんのプロの技を伝授する。すし飯で作るアイデアつまみなども収録。

#### 『最後の一文』

(半沢 幹一 著／笠間書院)

#### 『現場で役立つ!ハラスメントを許さない現場力と組織力』

(鈴木 瑞穂 著／日本経済新聞出版社)

#### 『皇室ファッション大全』

(渡邊 みどり 監修／宝島社)

#### 『心とカラダの正しい休ませ方-“頑張りすぎの私”がもっとラクになる』

(日経 WOMAN 編集部 編／日経 BP)

#### 『心躍る立体クリスマス刺しゅう』

(アップルミンツ／朝日新聞出版)

#### 『北九州カフェ日和-ときめくお店案内-』

(月刊はかた編集室 著／メイツ出版)

#### 『10分でキレイに結ぶ帯結びの基本』

(弓岡 勝美 監修／世界文化社)

#### 『世界の本屋さんめぐり』

(ナカムラ クニオ 著／産業編集センター)

### 芸術

#### 『すぐわかる正倉院の美術』

米田 雄介 著／東京美術  
正倉院の多彩な宝物の中から、名品中の名品とされる105件を厳選し、その見どころをチャートや図版を用いて、わかりやすく解説する。また、正倉院の成り立ちや歴史も多角的な視点でひもとく。見返しにイラストあり。

### 健康

#### 『10歳若くなる』

声トレ・のどトレ・歌トレ』  
玉澤 明人 著／法研  
のどを健康にして長生きしましょう。のどを鍛え嚙下をスムーズにする「あえいおう体操」「スマイルごっくん体操」などを、写真とイラストで解説します。目的別スペシャルメニューも掲載。



## ■ 児童書

### よみもの

#### 『ピノピノとおひるね 1』

ロベルト・ピウミーニ・原作  
げんさく  
／学研プラス

えほん  
絵本からのステップアップにぴったりな、ちっちなこぐまと森の仲間のかわいい成長物語。レトロクラシックなストーリーと愛らしい絵を楽しめます。1は、「ちゃいろのこぐまピノピノ」「森のであい」など全4話を収録。

### しらべもの

#### 『古墳のなぞがわかる本』

河野 正訓・監修／岩崎書店  
いわさきしょてん  
北海道と沖縄を除く日本の各地に広い範囲にわたって存在する古墳。古墳はなぜつくられたのか、中はどうなっているのか、どうやってつくるのかなどを解説し、全国の古墳を写真で紹介する。コピーして使うフィールドノート付き。

#### 『いざというとき自分を守る防災の本 1』

ぼうさいちんだいけんきゅうかい へん  
(防災問題研究会 編／岩崎書店)

#### 『よるのまんなか』

(おくはら ゆめ 作・絵／理論社)

#### 『とんでいったふうせんは』

(ジェシー・オリベロス ぶん・ダナ・ウルエコッテ 絵／絵本塾出版)

#### 『山のちょうじょうの木のでっぺん』

もがみ いっぺい 作・ありた 奈央 絵／新日本出版社)

#### 『おおにしせんせい』

(長谷川 義史 作／講談社)

#### 『なんでもはかれる! 単位の本』

(石倉 ヒロユキ 編著／岩崎書店)

#### 『ねことねこ』

(町田 尚子 作／こぐま社)



### えほん

#### 『チリとチリリ』

あめのひのおはなし』  
どい かや・作／アリス館  
チリとチリリが自転車<sup>じてんしゃ</sup>で出かける<sup>で</sup>と、雨<sup>あめ</sup>が降<sup>ふ</sup>ってきました。するとそこに、雨<sup>あめ</sup>のひだけ開<sup>あ</sup>いている動物<sup>どうぶつ</sup>たちのカフェが。ふたりはお茶<sup>ちや</sup>を飲<sup>の</sup>んでひとやすみ。カフェを出<sup>で</sup>てまた自転車<sup>じてんしゃ</sup>で進<sup>すす</sup>んでいくと、今度<sup>こんど</sup>は切手屋<sup>きってや</sup>さんがあ<sup>あ</sup>って…。

### ティーンズ

#### 『みかん、好き?』

うおすみ なおこ 著／講談社  
こうだんしゃ  
拓海<sup>たくみ</sup>の前に突然<sup>まへ</sup>あらわれた、風変わり<sup>ふうがわり</sup>な女の子<sup>おんなこ</sup>・ひなた。拓海<sup>たくみ</sup>の祖父<sup>そふ</sup>が作るみかん<sup>みかん</sup>に感動<sup>かんどう</sup>して東京<sup>とうきょう</sup>から瀬戸内海<sup>せとないかい</sup>の島<sup>しま</sup>までやってきたという。ひなたと祖父<sup>そふ</sup>はどんどん仲良<sup>なかよ</sup>くなり、一緒<sup>いっしょ</sup>にみかんを育<sup>そだ</sup>てることに…。甘酸<sup>あます</sup>っぱい青春<sup>せいしゅん</sup>小説<sup>しょうせつ</sup>。